



## 作新学院復興支援活動

～「作新学院文庫」が届ける、明日への力～

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害で大きな被害を受けた広島県呉市。作新学院では、何か力になれることはないかと呉市へ支援の申し入れをしました。そうしたところ、学校や図書室が被災しているのので、ぜひ書籍を贈っていただけないか。とのご提案をいただきました。特に被害が大きかった学校（安浦小・中学校、天応小・中学校の皆様）に「作新学院文庫」への寄贈が決定し、生徒達の応援メッセージと共にお送りいたしました。



届けられた作新文庫



送ったメッセージを掲示してくれました

新原 呉市長様、寺本 教育長様が各校をまわり、11月5日に贈呈式が行われたとの報告を頂きました。作新学院へ、寄贈先の学校の代表児童、生徒のメッセージやお手紙が送られてきました。貼付された笑顔の写真から、大変な状況下でも前進しようとする強い思い、たくましさを感じました。また、被災後の状況がわかっているからこそ、笑顔で頑張っているみなさんの様子が伝わってきました。これからも、私たちは心の交流を続けていきたいと思えます。



安浦小学校  
安浦中学校  
寄贈の様子



天応小学校  
天応中学校  
寄贈の様子

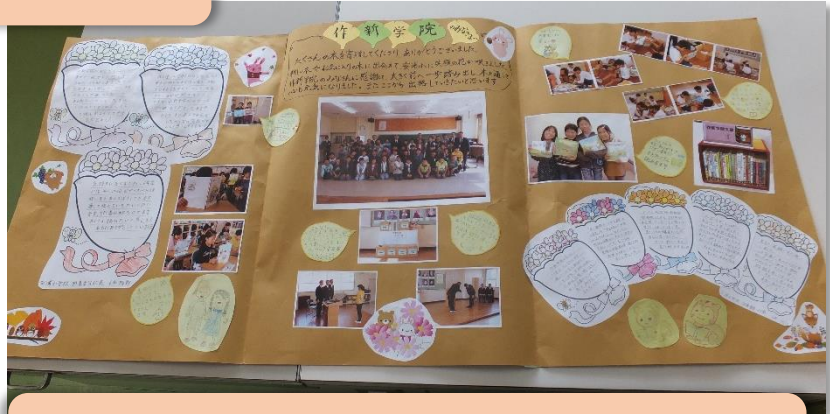




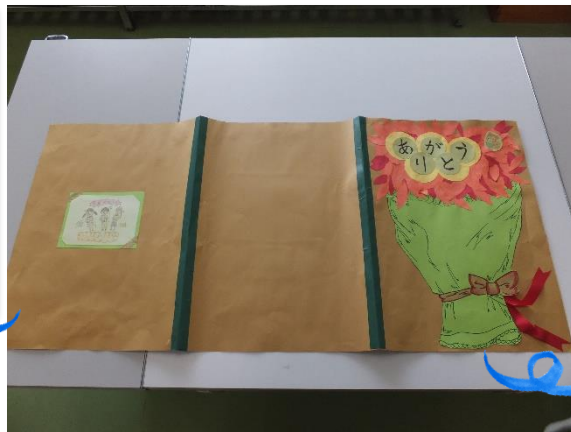
呉市安浦小学校・安浦中学校さんより

お礼のメッセージが届きました！

● 安浦小学校図書委員の児童からのメッセージ



可愛いメッセージには、さくしろうシールを本に貼ってくれている写真や皆さんが笑顔で写っている写真がありました



● 安浦中学校から生徒を代表して生徒会長さんからお手紙を頂きました。



《 お礼の手紙 ～呉市立安浦中学校生徒会長 山下雷蔵さんより～ 》

本校は、七月の豪雨災害で、浸水しました。当初は、泥の入った体育館や校舎のあちこちをみんなでかたづける日々が続きました。しかし、犠牲になられた方や被災された安浦町の事業所のことを考えると、不平不満を言うてはいけなかったと思います。

先週からJRが安浦駅まで通るようになり、校舎の一階も少しずつきれいになって、元の生活を取り戻しつつあります。

この度は、思いがけず、新原呉市長様のお声かけにより、作新学院様から、多くの本をいただきました。本当にありがとうございました。本校の図書室に置いて、大切に読ませていただきます。

また、作新学院の幼稚園児・小学生・中学生・高校生のみなさんから、心あたまるメッセージをいただき、元気をいただきました。よろしくお伝えください。

ありがとうございました。

平成30年11月5日

呉市立安浦中学校生徒会長 山下雷蔵

子どもの世界で、本が果たす役割が大きいことを私たちは知っています。災害に遭った辛い状況下でも心を解き放し、想像の翼を広げ明日の希望を見つけ出すきっかけや、前に一歩踏み出す力を与えてくれることでしょう。

本を読んでいる時間だけは、何も考えず、自分だけの時間を過ごすこともできます。この支援をきっかけに、“オール作新”では、被災地に「作新学院文庫」を送る活動を進めたいと思います。

